

令和6年度
シラバス

教科・科目	理科・礼文の自然と観光	単位数	2
-------	-------------	-----	---

学年・クラス	3学年（必修・ 選択 ）	担当者	田中 到
使用教科書	なし		
使用副教材	利尻・礼文自然観察ガイド 山と溪谷社 北海道山の花図鑑利尻島・礼文島 北海道新聞社		

目 標

礼文島の自然や産業に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行い、自然や自然現象を科学的に探究するために必要な資質・能力をつぎのとおり育成することを目指す。

(1) 目的を持ち、日常生活や社会との関連を図りながら、礼文島の自然や産業について理解するとともに、必要な知識やコミュニケーション能力等、基本的な技能を身に付け、主体的に活用できる力を養う。

(2) 礼文町の持続的な発展のため、自然保護と観光業の両立の問題解決に向け、情報を収集・分析し、科学的に探究する力を養う。

(3) 自然や自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与し、地域や社会に貢献する力を養う。

授業の内容・進め方

授業内容：1 礼文町の自然と観光 2 高山植物ガイド 3 礼文町の観光課題 4 まとめ

授業の進め方：観察、プレゼン作成、アイデア創出、実習における課題設定と準備、授業の取り組みをまとめ発表

考查：授業で行った内容をもとに出題する。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	礼文島の自然や観光に関する基礎的・基本的な知識が、総合的に身に付いている。 観察・実習を通して礼文島の自然保護や、高山植物のガイドを体験し、必要とされる知識やコミュニケーション能力が身に付いている。	礼文町の持続的な発展のための考えを深め、自然保護と観光業を両立させる方法を工夫し、問題を見だし、分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	礼文島の自然と観光業に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	レポート	◎	◎	○
	パンフレット等作成	◎	◎	○
	ガイド実践	◎	◎	○
	プレゼンテーション	○	◎	◎
	取り組み状況	△	○	◎

・ 観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

・ 評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

年間指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	1 礼文町の自然と観光	(1)礼文島紹介プレゼン作成 (2)花壇整備実習 (3)レポート作成	礼文島についての知識があり、スライド作成を行う事ができる。 適切な手順で苗の移植ができる。	礼文島の自然や観光について理解し、他者に伝えることができる。 花壇のレイアウトを考えて配置ができる。	礼文島の自然と観光業に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 主体的に花壇整備に取り組む。
	5					
	6					
	7	2 高山植物ガイド	(1)ガイド準備 (2)ガイド実習 (3)レポート作成 (4)花壇整備実習	ガイドに必要な心得を学び理解する。 ガイドに必要な資料等を作成し活用できる。 適切な手順で花壇整備ができる。	ガイドに必要な準備をし、適切な方法で情報を提供する。	礼文の自然に関心を持ち、課題を持って実習に臨む。 ガイドされる立場を理解し、より良い方法でコミュニケーションを取ろうとする。
	8					
	9					
後期	10	3 礼文町の観光課題	(1)前年度配付パンフレットアンケート分析 (2)観光大使リーフレット、アンケート作成 (3)観光資源発掘、考案 (4)花壇整備実習	アンケートの分析し、課題を見つける。 工夫したリーフレットを作成することができる。 適切な手順で播種ができる。	アンケートの結果から分析した、課題の解決策を検討することができる。	礼文島の新たな観光資源を主体的に考え、課題を見だし、解決策を考えることができる。 主体的に花壇整備に取り組む。
	11					
	12	4 まとめ	(1)礼文島パンフレット作成 (2)学習成果発表	観光客の目に留まるようなパンフレットを考え作成する。 課題発見につながるアンケートの作成を行う。 プレゼンテーション資料の作成を適切に行う事ができる。	パンフレットの構成を工夫することができる。 自然保護と観光業を両立させる方法を工夫し、他者に伝えることができる。	1年間の学習活動を振り返り、課題を見いだすことができる。
	1					